

## 開会行事ムービーはいかかでしたか？ 21 件の回答

- 1, 50 周年ということで懐かしい顔が見られました。コロナに負けず頑張っておられる姿を見れました。
- 2, 素晴らしかったです。オンラインでも仲間と繋がっているんだなという実感が持てる内容でした。
- 3, 同志会に入会したものの、コロナ禍でほぼ南河内の方としか交流できていませんが、同志会愛が伝わってきました。
- 4, 泉州ブロックを巻頭で採用していただき喜んでます。
- 5, どういった形で同志会ができたのか、その経緯がとても素敵でした。熱心な先生方が開催してくださる研究大会ということがよく分かり、今日は学びの多い一日になるだろうとワクワクしました。オンライン授業の導入により、本当にお忙しい中ですが、たくさんの方々がこういった貴重な機会を設けてくださり、ありがたく思います。
- 6, 50 周年にふさわしく村田さんたちの声があったのがとてもよかった。
- 7, わかりやすさと想いが伝わりました。
- 8, とても感動的で面白かったです。この会にける思いや準備がとてもよく伝わりました。
- 9, 同志会の歴史やみんなの思いが詰まっていることがよくわかるムービーだったと思います。どんなことでも今までの先生たちの積み重ねでいろいろなことができているんですね。自分も次の人につなげることができるようにがんばりたいと思いました。
- 10, 大変素敵なムービーでした。コロナが収まってみなさんとお会いできる楽しみが増えた感じです。編集ご苦労様でした！
- 11, 大阪支部 50 年の歴史と、先生方のヒューマニティーを感じられる内容でした。
- 12, ブロックに集合写真を求められていたのがこんなふうに使われてたんだー、と思いました。特にレジェンドの方々のご出演はとても貴重でした
- 13, とても良かったです。牧野先生のこれまでの雄姿が見られ、感動しました。
- 14, とても良かったです！
- 15, とても良かったです！全然会えていないけれど、みんなでひとつ！という感じがじーんときて、涙が本当に出てきました。レジェンドの方も初めてお顔がみられて感動です！！
- 16, 50 年の重み、そして牧野さんの意気込み、しっかり感じ取れるムービーでした。準備された菅さん、本当にお疲れ様でした。とても良かったです。

17, ひとりじゃないんだ！と思えてなんかちょっと泣きそうになりました。素敵な動画に元気が出ました。同志会のええやん！にすごく共感しました。

18, 元気がでました！！ コロナ禍で、保育園でも緊張が高くなり、日々、消毒や保育内容の変更など、考えないといけないことがあり疲れていました。今まで当たり前できてた散歩に制限がかかり、当たり前できない保育の中でしたが、同志会の皆様と1日語り合う、元気を貰えることを開会行事ムービーで感じました。この支部大会を運営していただき、本当にありがとうございます😊😊😊 1日みんなで学び合いましょう！！

19, また今度見せてください！泉州のをフル尺で使ってもらったみたいでありがとうございます笑

20, これまでの同志会の歴史や色々な方々の思いがとても伝わってきて感動しました。同時にその文化や大切なことをこれからも学んで伝えていかなくてはと思いました。

21, とっても素敵でした！同志会の歴史を感じました。

#### 基調提案の感想をお聞かせ下さい。22 件の回答

1, ときどきこえがきこえなかったり、画面が止まったりしてしっかり聞けませんでした。残念です。ここで学ぶ意義は伝わりました。

2, 教師の働き方改革という名目から、安易に専科制度を設ける動きが出始めているが、本当にこれが教師や子ども、学校にとって良いものなのかを考えないといけないと思いました。佐々木さんが話していたように、体育に関して言えば、その授業のなかで起こったことを深く議論し合ったり、教え合ったりする時間が必要となるが、専科制をとることで子どもたちの「声」を拾えなくなる恐れを私も危惧しています。また、コロナ禍で現場が混乱していることをいいことに、行事の中止や縮小をトップダウン式に決めるやり方が横行しています。自分の学校でも運動会の中止や変更などの議論が無く、一部の教職員や管理職で決定されたことがありました。コロナ禍だからこそ、これまでの既存の方法を見直し、じっくり議論し、新たな方法を生み出す必要があるのではないかと思います。

3, リモートでスライドがあり、見やすく分かりやすかったです。

4, 文章に即した提案でわかりやすかったです。

5, 子どもたちの主体性が、学びと意欲に繋がり、大きな成長になるということがよく分かりました。コロナ禍で、どういったことができるかを考えることに毎日振り回され、マイナス志向になりがちですが、少しでも明るい話題や良い実践、取り組みを現場の先生たちと共有し、前向きに過ごしていけるようにしていきたいと思いました。苦しいのは教師だけではないということを念頭において、色々な制限がある中で、子どもたちのためにできることを考えながら、授業づくりをしたり、子どもたちとの関わりを深めていきたいと思いました。

6, 新しい方を意識したわかりやすい内容だったと思います。ただわかりやすくするため、やや言葉足らずのところも出てくるのかなと思いました。難しいですね。

7, 今だからこそ、しっかり話し合っ共育と同じ方向性をみる必要がある。

とても分かりやすかったです。コロナ禍だからこそ見えてきたこと、考えなければならないことが本当にあるなと思います。自分自身は子どもたちの主体性を大事にしよう。子どもの実態からスタートして関わり合いの持つことができる体育実践に取り組もうと努力していますが、主体的な子どもを本当に育てていこうと思うと教師自身が主体性のある姿を見せ、主体的に取り組むことができる現場でなければならないと思います。そのために民主的な職場づくりをどう作り出していくのかを考えなければならないと強く感じました。

8, 体育の授業や運動会をどうするかなど、今私たちが直面している問題ばかりだったので、佐々木先生の話聞きながら、「そうです。そうです。そうなんです。」と思わず、うなづきながら聞いていました。まだまだ職場での理解が得られないところもありますが、今日の話聞いてまた明日からの学校での活動に生かしていけたらと思います。

9, 佐々木先生がそれぞれの基調提案をわかりやすくまとめられていて、内容がよくわかりました。最後の3つの体育観については、各分科会で柱として持てるようになっていけばいいなと思いました。

・これまでも体育科については課題が尽きませんでしたが、コロナ下でより多様な問題が発生し、現場が混乱していることを再確認できました。

10, パワポで端的にお話しただいてわかりやすかったです。特にプールの故障をいいことに修理をせず縮小化、スイミングスクールの参入を目論むある自治体の実態に触れられていたのは良かったと思います

・コロナ禍での体育実践の意義を、今だからこそ、これからの実践を通じて、同志会で考えていく必要があると思いました。

11, 今の情勢と、体育が置かれている状況がとても整理され、まとめられていたと感じました。

12, 流されがちな毎日に「確かに」「なるほど」と思いました

13, 大事なことをいっぱい伝えているんだけど、ちょっとインパクトが弱かったかも。後半の同志会の、わかる、できる、学び合うのところはいいに抑えていたと思います。

14, 子どもたちの主体性が大事なんだと、改めて思いました。

15, いつも佐々木先生はわかりやすくお話ししてくれるので理解しやすかったです。

16, コロナ禍の中でも、前向きに考えれる基調提案でした。保育園でも、コロナ禍の中で大切にしたい保育を出し合いながら日々保育にのぞんでいます。規制や制限しないといけないことが、増えていく中、何を大切に保育していくかを考えたいという思いになりました。大人も子どもも対話していくことで何か良りよい保育がでてくると思いました。明日からまた、保育園にもちかえり、コロナ禍の今だから大切にしてきた保育、コロナ禍の今だから大切にしていきたい保育を検討していかないと決意しました。

17, 異質集団について最近疑問に思います。安心して力を出せない。技術迫れない。男女の差。などがあり、穏やかに過ごせる子と一緒にする方法が、うまいことやれたりすることがた。棲み分けをしたりトラブルを回避したり、他の子が他の子に対してどう関わっているの顔見れたりもする。それぞれに学習して、後で全体の場で共有することで、分かるできる分かち伝えるを確保している。とりあえず今のクラスはそんな感じです。子どもが納得できるように完全に機械的に振り分けたり、くじ引きしたり、、、難しいなあ。

18, コロナ禍でも体育で何を大切にするのか、悩みに悩んでいる状況ですが、同志会の大切にしていることを聞いて改めて、自分の体育への向き合い方を振り返りました。今タブレット端末による「個別最適な学び」という名の個別指導が横行されている中で、集団での学びの大切さや、異質共同のグループ学習、「うまくさせるだけではない」ということが、本当に胸に刺さりました。子どもたちにあった学びになっているのか、教師が諦めていないのか、もう一度問い直していきたいと考えています。

19, 良かったです。

記念講演の感想をお聞かせ下さい。21 件の回答

1, 何回聞いても、新しい発見から授業されていて、新鮮でした。小学校の実践、大学での実践も子どもの声を大切にされている事が伝わりました。事実、に基づく資料も数字に誤魔化されなくて、見ていく事が大切という考え方に「ハッ」歳が任されている自分を発見しました。

2, 健康教育と社会問題は切っても切れない関係であるということが、上野山さんの話からあらためて強く実感しました。それは、私自身が新型コロナ実践に取り組んだことから感じたことです。低学年の子どもたちであっても、自分のまわりを取り巻く健康や命の問題であるため、とても関心が高いことが分かりました。小学生も大学生も感じていることはそう大きくは変わらないのではないかと思います。また、上野山さんの教材研究や調査の凄さにも驚かされたました。オリパラ中止にかかる費用が実際には国家予算に対して1%未満だったということが分かり、これほどまでに真実を報道しないメディアについて不信感を覚えました。教師が真実を追い求め、それを子どもたちに伝え、自分で考える力を身につけさせられる教師になりたいと強く思いました。

3, 自分の学校では運動会の団演がなくなれました。先生たちで何度も議論を重ねた結果です。今、色んな事を悩みながら一つ一つ決めて行ってますが子どもたちとコロナ学習をして、子どもたちとも一緒に考えながら決めていくことが大切だと改めておもいました。

4, 実戦に裏打ちされた話は、とてもわかりやすく、語りも上手で流石という以外ありません。素晴らしかった。今出世して二学期から5年を担任してます。離席と大声でなんともならないのです。そこで学びを生活に生かしたいと考えてコロナ実践に取り組んでますが、全く生かされません。二年間担任がお休みして学年なんだから仕方ないのですが、子どもの気持ちを聴きながら、あきらめず頑張ろうと思ってます。貴重な報告集ありがとうございました。 岸和田市 渡瀬 克美

5, 今、正に誰もが身近に経験している「コロナ」から考える授業は、主体的に考えやすく、話しやすいものだと思います。ただ、差別や偏見が実際にあるということも、しっかりと子どもたちに伝えていかなければならないと、改めて実

感じました。上野山先生の著書を読み、さらに保健体育について勉強してみたいと思いました。ありがとうございました。

6, 上野山さんのエネルギーに圧倒されました。「ボーッとしてんじゃねえよ！」と怒鳴られた感じです。

7, 自分自身もコロナを授業テーマにして実践してみたくなった。

8, 子どもの生活に基づいた学びが作り出すことができるかの大切さを改めて感じました。今の生活やコロナの実態を踏まえてそのことを科学的にいかに関わることが大切にしていきたいと思っています。

9, 本当に今、忙しく仕事をしているので、どうしても深く考えずに様々なことに取り組んでしまっているなあと感じます。感染対策も同様で、ただ「しなさい」とついつい言うだけで、「なぜ」という部分をとばして子どもたちに押し付けてしまっていたなあとすごく反省しました。今、うちの学校でも臨時休校を経験して、子どもたちの関心も高まっている今だからこそのやることもあると思うので、考えていけたらと思います。

10, 上野山先生の講演を聞くといつも力をもらいます。大学生一人ひとりとの対話を通して、自分の生活を安心してだすことができるようコーディネートされるところが本当に素晴らしいと感じました。ありがとうございました！

11, 上野山先生がどのような思いで健康教育実践をされているのか伝わってきました。午後の分科会でも学ばせていただきたいです。

12, Aさんの感染の状況、その後の実態、Bさん、Cさんのリアルな批判的反応、が非常に興味深かったです。対話を行い、子どもたちの意見表明権を大切にする中で、子どもたちは次第に主体的になり、教師を超えていくのだと改めて感じました。これまでの上野山先生の実践と同じように、大学生への授業にもそれが感じられました。上野山先生、ありがとうございました。

13, クラスでアンケートを取ると、9割近い子どもたちが感染への不安を抱えて学校に来ています。最近、コロナを中心に簡単ですが、感染症の学習をしました。本日のお話を聞いて、健康教育の重要性がより一層増してきていることを再確認しました。

14, 新型コロナという身近な問題を精力的に分析し、学生と共に考え、学生の意見からさらに深い学びを引き出して実践を講演してもらったと思います。

15, 新型コロナウイルスは、大人子ども関係なく、苦しんでいるのだと改めて考えさせられました。私自身、只、怯えるだけでなく、子どもたちに正しい情報を伝えていけたらなと思いました。

16, コロナにまっすぐに向き合い、学生には、とにかくさまざまな情報を伝え、学生の知りたい！ わかりたい！ 意欲を引き出し、それを全体に共有することで多角的な視点で学びをどんどん広げていく授業だと思いました。父のことも、教材にして下さって感謝です。

17, 上野山先生の記念講演では、コロナ禍の中だから、コロナの授業をしていく中で、グループワークをしていき子どもたちの内面を広げていく、思いを言葉にして伝えあう。ことを大切にされているなどお話を聞いて感じました。このこ

とは、保育園でも実践できます。子どもたちとも保護者に対しても、対話していかなければいけないと思いました。コロナ禍だからこそ、コロナで規制をするのではなく、コロナだからこそこんな保育をしています。と伝え合えるようにしていきたいと強く思いました。上野山先生、講演ありがとうございました。

18, めちゃくちゃ具体的で分かりやすかったです。内容とは少しそれますが、自分がオンライン授業をするときの参考になりました。コロナのあれこれについて、子どもたちがいろいろな意見を出してくれていて、どの意見も尊重してその子が言いたいことを聞き取ろうとし、みんなで分かり合える方法を模索しておられるのがわかりました。健康教育を社会問題として捉え自己責任としては捉えない、と言う上野山先生のポリシーそのもので、誰の命(意見、声)を見捨てないという事が至るところで一貫されていて素敵でした。多様性の中で生きるってこういうことですね。安心してものが言えて、みんなで繋がっていけるってこういうことだなと思いました。いのちと生活を連帯によって守るという言葉がありました。授業内容も授業方法もそれを軸にしたいなと思いました。

19, 病院内の学校に勤めている人間として、新型コロナウイルスと生活・命とのかかわりはとても密接につながっているなと感じています。また対話・主体を大切にして授業を進めていくことは健康教育だけでなく、全ての教科に共通して大切なことになっていくと思います。また状況が複雑化していく中で、子どもだけでなく教師や保護者も一緒になって学んでいきたい内容だと思いました。とても参考になりました。またコロナ実践集を改めて読ませて頂きたいと思います。ありがとうございました！

20, コロナ禍の実践を知り、学生の思い、悩み、希望などを感じることができました。